

事業所名	ハートプレイス		支援プログラム	作成日	2025年	2月	1日	
法人（事業所）理念	ハートプレイスは、「療育の最大の目的は、子どもの幸福である。」との理念に基づき、「子どもにおける最大の環境は療育者自身である」との自覚を持ち、児童の主体性と個性を尊重し、様々な場面において可能な限り自己決定できるよう支援する。							
支援方針	地域の中で、子どもを中心とした療育の場を提供し、豊かな育ちを支援する。 ①心と身体を育み、安心して過ごせる場所の提供 ②一人ひとりの個性と長所を伸ばすための療育 ③働く社会人へ向けての送り出し支援							
営業時間	平日	10時00分から	19時00分まで	送迎実施の有無	迎え	放課後：学校	休校日：自宅	
	土曜日	9時00分から	18時00分まで		送り	自宅		
	支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出せるように支援する。 常に健康状態をチェックし、意思表示が困難な子どものサインに気づけるようにきめ細やかな観察をする。 身の回りを清潔にして、食事や衣類の着脱等、生活に必要な基本的技能を身につけられるように支援する。						
	運動・感覚	姿勢保持、上肢・下肢の運動の習得を支援するが、それらが困難な場合は補助手段を活用してできるように支援する。 「～できなければ」という考え方ではなく、「～すればできる」というような柔軟な考え方で、補助機器を活用してできるようにするといった支援を行う。 感覚の特性がある子どもが辛い思いをしてしまうことのないように感覚の過敏さや鈍麻にあわせた環境調整を行う。						
	認知・行動	環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動につなげる一連の認知過程の発達を支援する。 時間、数の概念は数字だけでは理解が困難であるため、絵やタイムタイマー等、視覚的な要素を取り入れながら理解を促す。 アセスメントから子どもの感覚や認知の偏りを把握して、それらから起こりうる行動障害の予防と適切行動への対応の支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	言葉のコミュニケーションに限らず、多様なコミュニケーション手段を活用して、意思の伝達ができるように子どもに合った方法を伸ばす。 コミュニケーションには環境や支援者との関係性も重要であるため、支援者が多様なコミュニケーションの方法を理解し、子どもの意見を出しやすいように配慮する。 子どもの特性に応じて読み書きの能力の向上のための教材教具をつかって支援を行う。						
	人間関係 社会性	遊び等を通じて人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 できること・できないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動のコントロールができるように支援する。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。						
	家族支援	保護者の気持ちに寄り添い、保護者の心の負担を軽くする 面接以外に必要であれば、家庭訪問や事業所内での相談、学校その他関係機関との相談援助を行う			移行支援	就労支援事業所と連携を図り、本事業所を退所した後、スムーズに移行できるように支援する。また、地域で暮らす他の子どもと繋がりながら日常生活を送ることができるよう支援する。		
地域支援・地域連携	利用者が関わっている他の放課後等デイサービスや相談支援事業所、学校との連携を図るだけでなく、市社協や地元自治会等との連携に努め、自ら持つ人材や施設、設備などの資源を活用し、地域生活支援の拠点とする。			職員の質の向上	職員の資質・援助技術や専門技術、支援に対する意識の向上を図るために、ケース会議・勉強会などの施設内研修や各種研修会への参加を奨励する。また種々の資格取得について奨励し支援する。			
主な行事等	2月 節分 4月 入学・進級祝い 8月 プール水遊び 10月 ハロウィンパーティ		3月 ひな祭り 7月 七夕まつり 9月 敬老のお祝い 12月 クリスマス会					